

令和6年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	楽曲分析を基盤とする合奏教材指導法				
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 学習指導	プログラム指標 （しまだい）	授業デザイン		
キャリアステージ	自立・向上期（～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）	
	探究・発展期（10～20年目）			応用（学部3・4年レベル）	○
	充実・円熟期（20～30年目）			発展（大学院レベル）	
開設日	令和6年6月25日（火）午後	時間数	3時間	受講定員	15名
会場	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校 前期課程に併設）	所在地	島根県松江市大輪町416-4		
授業形態	講義、演習	対象校種	中学校、高等学校、中等教育学校 （対象校種外の方でも受講可能ですが 専門的内容も含まれます。）		
実施方法	対面（集合型）	対象教科	音楽科（対象教科外の方でも受講可能 ですが専門的内容も含まれます。）		
		対象職種	広く学校教育関係者		
担当講師	河添 達也（島根大学教育学部 教授）				
研修内容	<p>部活動等における主に小編成吹奏楽（アンサンブル）の指導者で、経験年数の比較的浅い、中学・高校の音楽科教員の方を想定した研修です。</p> <p>簡易な歌唱・器楽曲を題材として、まずは形式・形態分析を核とする楽曲分析を行い、その成果を生かした合奏の指導法を、指揮実践によって考察します。</p> <p>指揮実践は、学生によるピアノ連弾や数名程度のアンサンブルを対象として行う予定です。</p>				
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	13:10～13:30	受付			
	13:30～13:40	オリエンテーション			
	13:40～15:00	楽曲分析のための基礎理論と実施例			
	15:00～16:30	楽曲分析を生かした合奏教材楽曲の指揮実践と考察			
16:30～16:45	「事後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時				
研修に関して各自準備するもの	筆記用具、指揮棒（必須ではありません）				
事前課題	・受講決定後に取り上げる楽曲を提示します。				
その他	<p>・動きやすい服装でお越しください。</p> <p>・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。</p> <p>・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。</p> <p><a href="mailto:kawasoi@edu.shimane-u.ac.jp">kawasoi@edu.shimane-u.ac.jp</a> まで、ご連絡ください。</p>				